

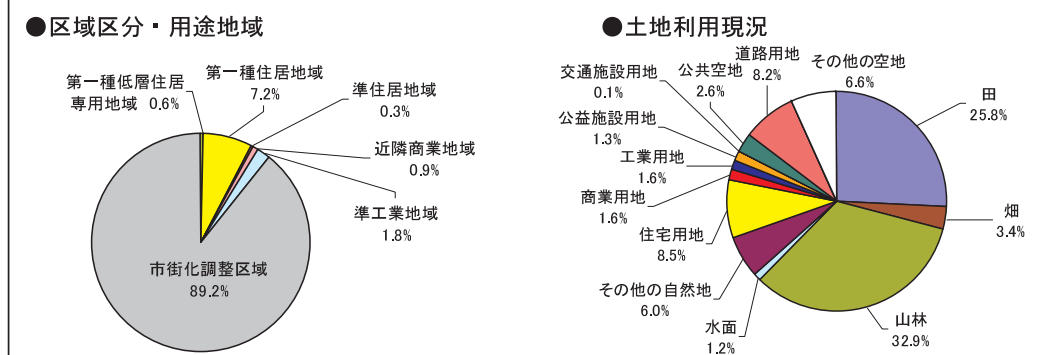
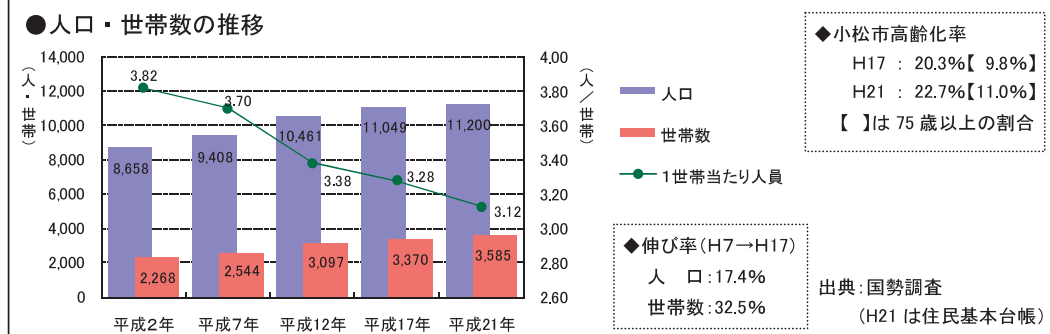
# 7 湖東地域（苗代・蓮代寺・木場）

## 1. 地域の現況

- ・本地域は苗代、蓮代寺、木場の3校下からなり、木場潟の東部に位置し、東部丘陵地と木場潟沿いの平野部からなっている。
- ・地域のほぼ中央を南北に国道8号（小松バイパス）が通過しており、東西方向には国道416号、（主）金沢小松線が横断し、市街地と連絡している。
- ・吉竹北部や千木野団地等の整備により、近年、人口が急増している。
- ・地域内の約9割は市街化調整区域となっており、市街化区域は住居系用途が大部分を占め、わずかに商業系と工業系が存在する。
- ・平成17年現在の人口は11,049人となっており、苗代校下の増加は著しく、蓮代寺、木場校下は横ばいであるが、全体では増加傾向にある。また、世帯数についても3,370世帯で増加傾向である。
- ・平成17年の高齢化率は17.0%であり、南西地域と並んで、10地域の中で最も低い。

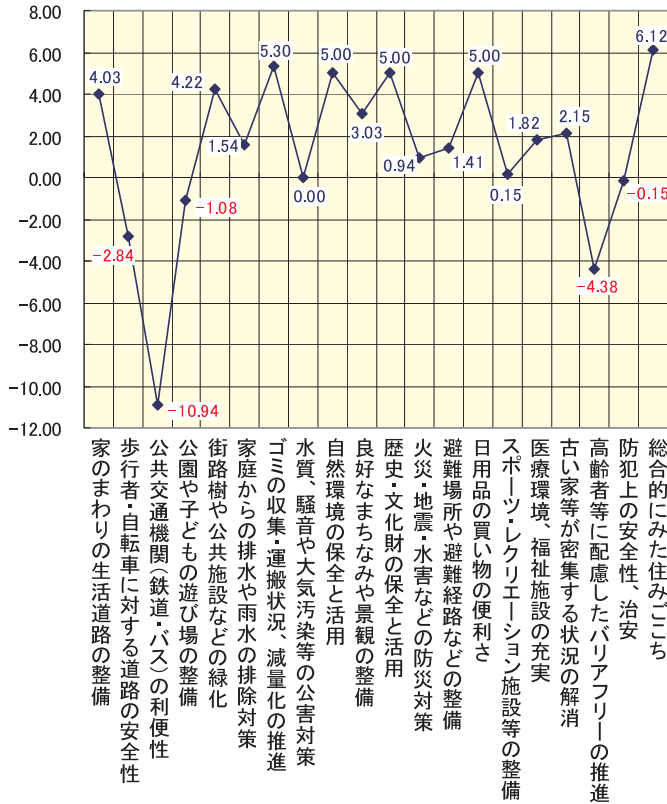


●基礎データ		都市計画区域内に占める割合	都市計画区域内の平均	備考
面積 (ha)	1,540	12.6%		都市計画基礎調査値
人口 (人)	11,049	10.6%		H17国勢調査値
世帯数 (世帯)	3,370	9.7%		〃
人口密度 (人/ha)	7.17		11.19	
平均世帯員数 (人/世帯)	3.28		3.02	
高齢化率 (%)	17.0 【 8.5】		19.8 【 9.4】	H17国勢調査値
【 】は75歳以上の割合 (%)	18.7 【 8.5】		21.9 【10.7】	住民基本台帳 (H21.4.1)

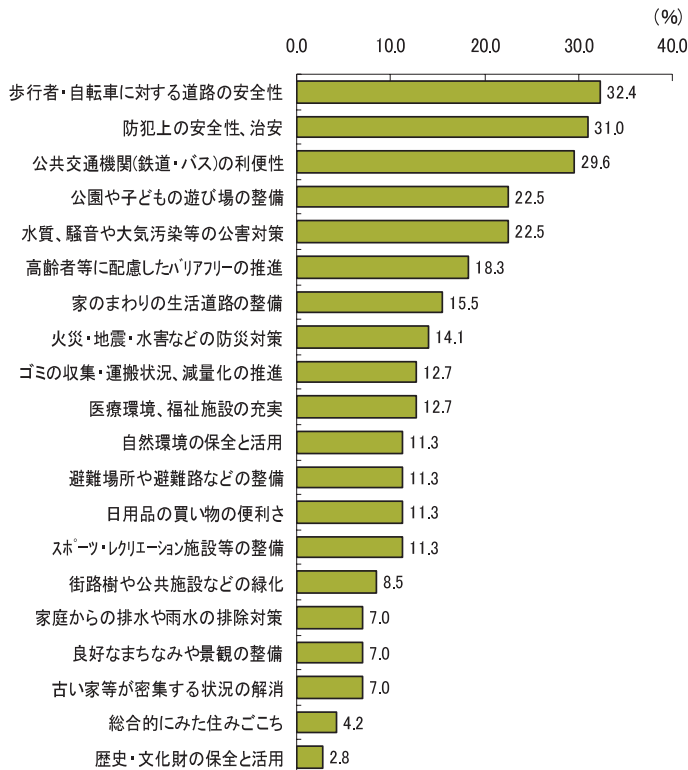


## 2. 住民意向調査結果

### ●生活環境の満足度



### ●さらに住みよくなるために重要なこと



### ●具体的なまちづくりの方策について

#### ◆道路交通網の整備について重要だと思うこと

歩道の整備や安全な通学路の確保

#### ◆公園・広場の整備について重要だと思うこと

子どもや高齢者等が利用しやすい身近な公園や広場の整備

#### ◆まちなみ景観について重要だと思うこと

山並み・河川などの自然や田園景観の保全

#### ◆防災対策について重要だと思うこと

洪水や水害に対する治水対策の強化

#### ◆環境対策について重要だと思うこと

ゴミの減量化など、リサイクルの推進

#### ◆市街地の整備について重要だと思うこと

商店街の活性化や便利で利用しやすい商業地づくり

#### ◆JR小松駅周辺の整備や取り組みについて重要だと思うこと

駅周辺の商業機能の強化や商店街の魅力向上

#### ◆まちづくりにおける市民の役割について

- ・自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと
- ・美化清掃や緑を大切にするなど、自分のできることから始めること

#### ●若者が小松市に住み続けるために必要なこと(中学生の回答)

CD・ビデオショップ、書店など、若者の情報が得られる施設があること

#### ●小松市で自慢できるもの(中学生の回答)

自然が豊かで、緑が多いこと

### 3 . 地域の特性と課題

#### 〔特性〕

- ・ 本地域の北西側から東側にかけて市街地化が進行し、最も人口増加が著しい地域となっている。
- ・ 自然の姿のままに残されている木場潟や、緑豊かな東部丘陵地と優良農地を囲む形で点在する既存集落がある。

#### 〔課題〕

- ・ 市全域との調整を図りながら、土地の需要を見極めて開発と保全を行う必要がある。また、新市街地と既存市街地の連携により、まちなかの賑わい再生を図る必要がある。
- ・ 優良農地を保全し、さらなる生産基盤の確立を図るとともに、市街地化を抑制するため農地の無秩序な開発を防止する必要がある。
- ・ 既存集落において、下水道や生活道路、身近な公園・広場等の整備を推進し、居住環境の向上を図るとともに、既存集落の維持に努める必要がある。
- ・ 新たに整備された千木野団地や吉竹北部地区などの住宅地については、今後も良好な居住環境の維持・保全に努める必要がある。
- ・ (市)津波倉一針線の整備のほか、地域内の連絡道路の整備が進められており、今後も既存道路の拡幅整備や歩道の設置等により、安全で快適な道路環境の創出を図る必要がある。
- ・ 国道8号(小松バイパス)の4車線化の早期完成を推進するとともに、蓮代寺ICにおける道の駅の整備を推進し、地域振興拠点として新たな地域づくりを展開していく必要がある。
- ・ 公共交通の空白地帯について、コミュニティバスの導入などを検討し、公共交通の利便性向上を図る必要がある。
- ・ 木場潟の水質浄化や一帯の環境美化に努めるとともに、自然と人とのふれあい空間の創出や白山眺望景観の保全を推進する必要がある。また、木場潟公園については、レクリエーション活動の場としての充実を図る必要がある。

## 4 . 地域のまちづくりの方針

### 4-1 . まちづくりの目標と基本的な考え方

〔まちづくりの目標〕

木場潟や東部丘陵の自然環境と共生する  
やすらぎのある生活を実感できるまち

〔基本的な考え方〕

本地域は、木場潟や東部丘陵、田園の緑等の豊かな自然に恵まれており、今後も良好な自然環境の中で、快適でやすらぎのある暮らしを享受できる地域づくりを推進するものとする。

そのため、優良農地の保全と無秩序な開発を抑制するとともに、開発にあたっては、周辺環境に配慮した計画的な整備を図り、開発と保全の調和のとれた土地利用を誘導する。

また、既存集落地において、下水道や公園、生活道路等の整備による居住環境の向上を図るとともに、新興住宅地においては今後とも良好な居住環境の維持・保全に努める。

さらに、地域を取り巻く東部丘陵や木場潟、農地などの自然環境の保全と、白山眺望景観や田園風景等の魅力ある景観づくりを推進し、うるおいある豊かな環境形成を図る。

豊かな自然環境との共生によるやすらぎのある地域づくり

計画的な土地利用による伸びゆく地域づくり

水辺や緑の環境美化、景観形成等による美しい地域づくり

### 4-2 . 地域整備の方針

(1) 土地利用の方針

沖周辺地区では、土地区画整理事業により、計画的な整備が実施されており、今後は、広域商業機能の立地促進と住宅地の整備を図るとともに、新市街地と既存市街地相互の連携を図り、市全体の活力増進と賑わい創出を目指す。(中東地域と共通)

千木野団地や吉竹北部地区等の新たに整備された住宅地においては、今後とも良好な居住環境の維持・保全を図る。

人口停滞などにより社会的活力の維持が困難になっている地区では、既存集落周辺において、周辺環境との調和を図りつつ、地区計画の活用や開発許可等の諸制度の適切な運用により、一定割合の宅地化を進めることとする。この際、優良農地との整合に十分配慮し、必要に応じて都市基盤の整備を行うものとする。



千木野団地

本地域においては、工業系土地利用は当面見込まないものとする。ただし、必要が生じた場合は、周辺土地利用等との整合に配慮して、立地位置等の検討を進める。

木場潟周辺等の優良農地の保全を図り、無秩序な宅地への転換を防止する。

## (2) 交通施設整備の方針

国道8号(小松バイパス)の4車線化を促進する。(国道8号沿線地域共通)

また、蓮代寺ICにおいて道の駅を整備し、利便性の向上を図るとともに、地域振興拠点として新たな地域づくりを進める。



道の駅に建設する地域振興施設のイメージ

(都)幸八幡線、(都)沖白江線の整備を推進し、中環状道路の早期完成を図るとともに、(都)幸八幡線においては、国道8号(小松バイパス)までの延伸区間についても整備を促進する。(中東地域と共通)

(都)空港東山線の北浅井交差点から市場北口交差点までの区間について、安全な歩行空間の確保を図るため、歩道の整備を推進する。

国道8号(小松バイパス)の4車線化にあわせ、アクセス道路の機能強化など、地域内道路の有機的連携を図る。

地域内の南北方向を連絡する道路等においては、狭隘道路の整備や歩道の設置など、円滑な自動車交通と歩行者の安全確保のための整備を推進する。

コミュニティバスの導入により、公共交通の空白地帯の解消を図るとともに、公共交通を利用した新市街地と既存市街地の連携により、まちなかの賑わい再生を図る。



(都) 空港東山線

## (3) 公園・緑地整備の方針

木場潟公園においては、健康増進や自然を活かした教育の場として整備充実を図るとともに、未整備となっている東園地の整備を促進する。

憩いの森や八幡温泉周辺については、周辺の豊富な緑地や自然環境を活かした医療・健康増進ゾーンとして、それぞれの施設等を結ぶ散策路等の環境整備を目指す。(中東地域と共通)

#### (4) その他の施設整備の方針（河川・下水道等）

木場潟周辺集落の生活排水の浄化を推進しており、今後は効果的な財源活用等を図るため効率的な汚水処理を検討しながら整備を目指す。また、下水道整備地区の接続向上については、戸別訪問、PR活動や普及促進サポーターとの協働により一層の普及促進を図る。

#### (5) 自然環境保全及び都市環境形成の方針

ヨシ原再生、木場潟クリーン作戦など市民と協働で取り組んでいる活動を継続し、木場潟の水質浄化や一帯の環境美化に努め、美しい水辺環境づくりを推進する。（南央地域と共通）

地域内に広がる農地は、生産拠点のみならず、環境、景観上の資源としても貴重な空間であり、保全に努める。

東部丘陵地については、稜線と豊かな緑が構成する景観や良好な自然環境の保全に努めるとともに、白山の眺望景観に配慮した土地利用の規制・誘導を図る。（中東地域と共通）



ヨシ刈り

#### (6) 都市景観形成の方針

木場潟の水面の広がりや背景の白山が映える眺望は市民の誇りとなっており、白山眺望景観保全地域において、前景となる中間山地の稜線を切るなど眺望景観を阻害するおそれのある建築物等の高さや色彩等を規制・誘導し、眺望景観を保全する。

国道8号（小松バイパス）沿線において、建築物や屋外広告物の規制・誘導などにより、田園や丘陵地の緑に調和した良好な沿道景観の創出を図る。（中東、南央、南東地域と共通）



木場潟から臨む白山眺望景観

#### (7) 都市防災の方針

安全な避難場所や避難路の確保をはじめ、狭隘道路の改善やポケットスペースの確保、公共建築物や災害時の避難場所等となる施設の耐震化を促進する。

災害時の避難・救援拠点である道の駅及び周辺は、救援物資等の集積・配送等を迅速に行えるよう、施設の整備充実や第1次緊急輸送道路である国道8号（小松バイパス）の整備充実、機能強化を図る。

